

甲賀市わかもの会議 令和7年度提言書



令和7年10月28日

わかもの会議とは

- ✓ 甲賀市総合計画第3期基本計画に掲げる重点目標「若者・子育て世代に選ばれるまち」を実現するために、現在取り組んでいる施策に対して、若者目線によるアイデアや意見をいただくことを目的として設置された会議体。
- ✓ 令和7年度においては、市から委嘱された17名の委員が、2回にわたる会議にて、計4事業について議論し、当該事業にかかる考えを提言。

本日までの流れ

7月18日 第1回会議

- ・ 委嘱状の手交
- ・ 市の概況のインプット



8月25日 第2回会議

- ・ 若者定住促進事業
(婚活支援等)
 - ・ JR草津線利用促進事業
- について議論



9月19日 第3回会議

- ・ 企業の人財確保
 - ・ わかもの投票率向上事業
- について議論



議論対象となった施策・事業

「わかもの会議」に集った私たちは、次代を担う者として、今日だけではなく、明日、そしてその先の社会を見据え、以下の4つの事業について真剣に議論を重ねてきました。

異なる背景を持つ若者たちが、同じ未来を見つめ、知恵を出し合った結晶が、この提言書です。この提言書が、甲賀市の未来を変えるきっかけとなり、“若者・子育て世代に選ばれるまち”の実現につながることを心から願い、手交いたします。

①若者定住促進（婚活支援等）

- ・婚活支援
- ・結婚新生活支援補助金
- ・若者のつどい開催支援補助金

等



②JR草津線利用促進事業

- ・通学定期補助
- ・待合環境の整備
- ・交通環境学習
- ・草津線を活用した周遊型観光

等



③企業の人財確保事業

- ・合同就職面接会・企業説明会の開催
- ・地域一体型オープンファクトリーの実施

等



④わかもの投票率向上事業

- ・出前講座やSNS、テレビ、紙回覧による啓発
- ・投票へ行くきっかけづくり

等



① 若者定住促進事業（婚活支援等）

1. 事業背景

- ・若年層の流出と未婚率の上昇による出生数の低下が人口減少に拍車をかけている。
- ・婚姻数の上昇に起因する出生数の押し上げを目的に、結婚相談・婚活イベント・若者のつどい等を実施。
- ・“出会いのきっかけ”の提供に際して、特に女性参加が伸びていないことが課題。
- ・このため、“行政主導の出会いの場”という印象を受けず、参加しやすいライトな出会いの場に関する意見をいただきたい。

2. 「わかもの会議」における意見・アイデアの概要

- ・「定住」を前提とすると、「出会い」だけでなく、住居・子育て・教育など暮らし全体の支援と組み合わせることにより、より効果的な情報発信が可能。
- ・ライフプラン例やモデルケースを提示するとともに、結婚・定住を決定する際の最大因子である、生活基盤（就労機会・初期費用・移動の不便解消）の不安を解消することにより、定住するイメージがわき、甲賀市を選択する可能性が拡大する。
- ・結婚を前面化すると参加しづらい層が生まれるので、趣味や学びを起点に、気軽に集まれる緩い場を小規模・定期開催。定期開催によって関係の継続性を担保でき、参加者同士のつながりの深化を促進できる。
- ・行政情報が、若者に情報が届いている実感がなく、施策設計と同じだけ、若者の情報取得行動に沿った、伝え方の設計が重要。SNSショート動画の発信や同世代インフルエンサーの起用などが有効。
- ・結婚した世帯に対しての金銭的支援では、若者流出の根本的解決にならない。結婚～子育てに対する長期的な支援の方が有効ではないか。

3. 「わかもの会議」からの提言

- ・趣味、ボランティア、スキル学習などをテーマにした“ライトな出会いの場”の通年・定期開催。
- ・①就労、②出会い、③結婚、④住居、⑤子育てを含む生活基盤の伴走支援が見える化し、若者の情報取得行動（SNS、ショート動画、コミュニティ、口コミ）を考慮した戦略的な情報発信の推進。
- ・子育て世代が定住できるよう、結婚～出産～子育てへの継続的な支援、方法の検討。

② JR草津線利用促進事業 貝

1. 事業背景

- ・草津線の利便性は、人口流出に直結する重要課題。
- ・人口減少や減便による利便性の低下(平日日中の減便、終電の減便、柘植始発の減便)により、利用者が減少傾向にある。
- ・利用者増加を目指し、「定期利用」を更なる促進、「定期外利用」者の開拓、環境整備(駅までの二次交通、待合室等の整備)、SNSや児童向け啓発等、複数の事業を並行して実施しているが、**市外への情報発信に課題感**がある。

2. 「わかもの会議」における意見・アイデアの概要

- ・市内在住の大学生向けの観点からの支援があったらよい。
- ・**市外へ電車通勤している市民に対する支援(駐車場代補助等)**も草津線の利用促進につながる。
- ・2次交通がカギとなるため、**幹線のバス路線の充実(枝線から幹線充実の転換)**は重要であるが、まずは団地在住者へのアンケート等、ニーズ把握が必要。
- ・**外国籍市民は、乗り方がわからないから、電車に乗らない方も多いので、駅構内、電車内の表記を多言語化**しても面白そう。
- ・**駅待合室をカフェスペース(イス、空調、電源等整備)として利用**できると、利用層の拡大につながる上、滞留時間が生まれるので、情報発信の場としても活用できる。
- ・SNSにおける動画投稿、マスコットキャラクターの活用、インフルエンサーの起用等、**訴求力のある情報発信が重要**。



3. 「わかもの会議」からの提言

- ・将来の定住のきっかけとなるよう、市内在住大学生に向けた支援策を創設。
- ・新たな利用者の発掘や既存利用者の満足度を高めるためバスなどの二次交通網充実に向けたニーズ調査の実施。
- ・誰もが利用しやすいJR草津線を目指すため、駅構内、車内の環境整備。
- ・趣向を凝らした情報発信による、新たな魅力の創出。

③ 企業の人財確保事業

1. 事業背景

- ・甲賀市の主産業は製造業であるが、**理系離れ**や**ものづくりへの関心の低下**に起因して、**現場の人手不足が課題**となっている。
- ・市民への就労支援や、就業の入り口を提供する取組（奨学金返還支援、長距離通勤支援等）、市民の意識改革を促す取組（ゲストティーチャー事業、オープンファクトリー等）が複線で進む。
- ・個別事業の継続性や運営体制に課題感があるほか、施策の方向性についても、当事者からの意見をいただきたい。

2. 「わかもの会議」における意見・アイデアの概要

- ・就業による金銭的支援等のきっかけの提供も重要であるが、**企業に働く同世代からの体験・経験談（若手従業員の仕事観・成長・やりがい）を伝える**ことで、求職者により効果的に訴求できる。
- ・まずは、**地域の製造業について知ることが重要**であり、就学期における早い段階で現場に触れ、進路選択前に、地元企業への就業を選択肢化する必要がある。
- ・多様な働き方を応援することが重要であり、フリーランスや難病患者のインターン支援など、企業とのマッチングを図ることが必要。



3. 「わかもの会議」からの提言

- ・合同就職説明会やゲストティーチャー事業等において、“人の物語”や“企業の中身”を伝えるセクションを標準化する。
- ・若手従業員が職場の“押しポイント”を、本人の言葉で伝えることができる媒体（KOKA LOOK BOOK）の継続・拡充。

④ わかもの投票率向上事業

1. 事業背景

- ・甲賀市における選挙では、若者の投票率が低いことが課題となる中で、投票区を95から49に再編した以降も、**投票率の維持・向上に取り組む必要がある。**
- ・特に投票率が低い若い世代に情報を届けることができる**啓発のブラッシュアップや、わかもののライフスタイルに合わせた投票機会の確保、投票環境の向上が求められる。**

2. 「わかもの会議」における意見・アイデアの概要

- ・そもそも選挙に対する関心の低さが最大の課題であり、**広報の量ではなく、体験の質を上げる必要がある。**
- ・教育課程において、模擬選挙等の市政参加体験により、家庭や若者どうしで政治について話す文化や環境を作り「**自分の一票が社会を動かす**」ことを実感してもらうことが重要。
- ・選挙や政治に無関心な若者が多いため、啓発の際には、**簡易な言葉でわかり易く説明**することが重要。
- ・**投票に対するイメージ転換**のため、短尺動画、歌、アニメ、“映える証明書”の導入はどうか。SNS上でのユーザー間の拡散にもつながる。
- ・市政参加への関心を高めるために、若者提案→実装→報告のサイクルを回し、“**なにも変わらない感**”を**払拭**することが、市政参加への関心の底上げにつながる。
- ・高校や大学、商業施設等の人が集まる場所における移動投票所（投票バス）の巡回や、大型商業施設における期日前投票所設置、入場券がなくても気軽に投票できる環境づくり等、あらゆるライフスタイルにも対応できる投票機会を設けることは、心理的・物理的なハードルを下げることにつながる。



3. 「わかもの会議」からの提言

- ・高校生は数年後有権者になることを踏まえ、デザインを一新した投票済証を複数種作成するなどの話題性を出すことで若者の市政への関心・向上につなげていく。
- ・市民の生活導線に合った投票所設置と投票機会の確保。（大型商業施設における投票所、移動投票所）

甲賀市 わか'もの会議